

Gコースを想定して1年生の時間割を作ってみよう

参考に使うもの

- ★学生便覧（卒業要件を確認）
- ★学部の時間割
- ★Gコース「履修案内」P6～9（修了要件を確認）
- ★Gコース時間割

時間割参考カレンダー（Gコース時間割冊子）を活用しよう。
社会系・生命系・自然系の各ページで月曜&木曜の時間割を確認できます。

1. 全学ガイダンス，情報処理入門
2. 必修の英語，初修外国語（履修する場合）
3. 1年生で履修する専門科目
4. 教職科目
5. 1学期木7・8 グローバル人材育成特別コース入門
6. 3学期水5・6 グローバルスタディズ3
7. 1学期に抽選登録した教養教育科目
Gコース時間割にあればGコース修了要件にも使えます。
8. Gコース科目 コミュ開+S P A c E 英語
必修と選択必修に注意！

SGL & GL1 グループ

必修 コミュ開 ※1年生での履修を推奨
必修 IRC

GL2 グループ

必修 コミュ開 ※1年生での履修を推奨
必修 AC1, AC2
選択必修 GC, MUN, IRC から2単位
※IRCは1年間連続履修の超ハイレベル授業
IRCを履修しない人はGC or MUN

LS グループ

必修 コミュ開 ※1年生での履修を推奨
必修 IGS
選択必修 ISC, AC1, AC2, TPI, IPI から1単位

9. Gコース科目 グローバル・コア2

学部の必修科目がなければ履修する！

3 学期水 5・6 グローバルスタディズ3

3 学期は多忙なので余裕があれば（IRCとの両立は大変）

3 学期木 5・6 Japan in the Globalization I

2 科目必要
履修は計画的に！



ポイント① 1 年生で履修したほうがよい科目

月・木・・・1 年生の教養デイ 火・金・・・2 年生の教養デイ

つまり 月・木に開講される科目は 2 年生で履修は困難！

2 年生の月・木は専門科目が開講されます。

コミュニケーション開発 I

全グループ

ネイティブ教員による英語で実施します。

英語でのコミュニケーションに慣れることに重点を置いた授業。

楽しいという感想も多い。

IGS
ISC

} GL 2 & LS グループ

1 学期にどちらか 1 科目の履修をおすすめ！

ISC は 2 クラスなので定員数にも余裕あり。

ISC は自分の英語の弱点を知り自分に合った

学習方法を考案するユニークな授業です。

AC1 1・2・3 学期に開講

AC2 3・4 学期に開講

} GL 2 & LS グループ

SGL & GL I +GL2&LS の希望者

IRC

原則として 1 年間連続で履修する科目

1 年生 2 学期スタート～2 年生 1 学期まで

もしくは

1 年生 3 学期スタート～2 年生 2 学期まで

超ハイレベルなので、途中からの履修はできません。

予習・復習のほかプレゼン準備など学習時間負担が多い授業。

長期留学をめざす人やポジティブに取り組める人向き。

リスニングとスピーキングが苦手なら IRC より GC を推奨。

1 年生は同じ教員・同じ時間割でセット履修すること。

未登録では
履修できません。
定員数超えると抽選



ポイント② Gコースの事前抽選

- 1 学期 . . . 4/7メ切 Gコース事前登録抽選
IGS, ISC, ACI, MUN, コミュ開1
- 2 学期 . . . 5/11メ切 Gコース事前希望調査
- 3・4 学期 . . . 9月上旬メ切 Gコース事前希望調査
詳細は7月中旬頃メール通知



ポイント③ 重複履修ルールに注意しよう

Gコース時間割冊子の裏表紙（最終ページ）をご覧ください。



ポイント④ グローバル・コア1 (異文化・日本文化・新世紀)

1年生で全部修得できなくてもOK!

科目数も多いので2年生でも履修のチャンスはあります。

以下の3科目はGコース限定なので優先的に履修できます。

「新世紀の自然と科学1」

「瀬戸内海地域概論」 . . . Gコース事前希望調査で抽選あり

「日本の思想と文化」 . . . Gコース事前希望調査で抽選あり



ポイント⑤ 学部の卒業要件と履修ルールを確認しよう

★Gコースは「上級英語」を4～6単位履修します。

学部の卒業要件ではどのように算入されるのか
知っておきましょう。

★単位認定制度を知っておきましょう。

TOEIC など外部検定試験で高スコアがあると
英語科目を単位認定することができます。

→ 「教養教育科目履修の手引・授業時間表」(ピンク冊子) P

★履修の上限単位数を知っておきましょう

学部によってはGコース生の上限単位が緩和される場合があります。「学生便覧」を読んでわからないときは、必ず学部の教務窓口で確認しましょう。



ポイント⑥ 長期留学を考えている人は

TOEFLかIELTSの対策を早く始めよう。

TPI IPI